

5月18日(火)

WWL特講が行われました

演題:「誰も排除しない世界とグローバルコミュニケーション力」

講師:羽賀 友信様

(長岡市国際交流センター「地球広場」センター長)



6月16日(水) WWL特講が行われました

演題:「地域の産業・経済における現状と課題」

講師:細谷 祐二様

(新潟県立大学国際経済学部教授)

～生徒の感想～

- 燕三条の事業が一部の地域とだけでなく全国とつながっていることがよく分かった。地域の活性化が日本全体の発展につながる。身近なことで知らなかった新しい一面を知ることはとても興味深い。
- 勉強は自分のためだけにするのではないという言葉が心に残った。様々なことを学ぶことで、地域の良いところや課題を知り、そのためにできることを考え、提案したり行動することが地域のためになる。海外への発信も大切だ。

6月29日(火) グローカル探究

探究グループが決まり、グループ毎にテーマを選定しました



7月9日(金) 社会人講義 生徒は13分野に分かれて受講しました



2年生の探究テーマ発表会

2年生の発表を聞いて、1年生はこれから本格的に始まる探究活動をイメージしました



9月2日(木) ロシアハバロフスク教育センターとの連携校調印式  
各クラスはZoom ミーティングで参加

英語部の生徒が三条高校と三条地域について英語で紹介しました



9月10日(金)～ 探究ポスター掲示  
探究活動の中間報告をポスターにまとめ掲示しました





9月16日(木) ベトナムチャンフー高校との提携校調印式



10月4日(月) 中国ハルピン実験中学校との提携校調印式



～生徒の感想～

普段の生活では絶対に経験できない調印式に参加させてもらえたことにとても感謝しています。夏休みから英語部の皆で練習を繰り返して、全ての調印式を無事に終わることができて良かったです。これから、各国の高校との交流を通して学んだことを、クラスの皆や学年の生徒、そして全校生徒に発信していきたいです。

## 11月11日(木) 英語部生徒によるチャンパー高校とのオンライン交流会



### ～生徒の感想～

- ベトナムの高校生との初めての交流会。緊張したけれど楽しく話げできました。ベトナムについて深く知りたいと思うと同時に英語でのコミュニケーションをより円滑にできるようもっと勉強しようと強く心に思いました。
- 日本語を話すベトナムの高校生に刺激を受けました。同じ高校生が母国語以外の言語を学ぶ姿勢をみならって、私も英語を使えるように努力します。

11月30日(火) 分野別発表会

1年生全64班が9会場に分かれてこれまでの探究成果を発表しました



12月1日(水) WWL特講が行われました

演題：「2030年までに達成すべきことSDGsとは～長岡技大のSDGs活動」

講師：長岡技術科学大学 SDGs推進担当

UEA エデュケーション・アドミニストレーター 勝身 麻美様

前半はSDGs達成への取り組みについて学び、後半は「地域活性化」をテーマにミニディベートに挑戦しました



～生徒の感想～

- SDGs達成のために、積極的に働きかけを行い、周囲への周知をもっと深めていくことと、この地球が直面している課題についてもっともっと頻繁に話し合っていくことがとても大切だと思った。また、主体的に取り組んで知識を深めようという姿勢を意識していきたい。
- SDGsの達成には、1つを解決すればいいわけではなく、多くのことと関連づけなければならない。逆に、1つが解決すれば多くのことの改善にもつながる。私たちの小さな行動にも意味があると思った。
- ディベートで、お互いの意見をぶつけ合うことで新しい方法やアイデアが浮かび勉強になった。客観的に物事を見たり、多角的に考えるためにディベートが有効だと思った。
- 「これが正しい」「これは間違っている」「これが一番だ」などといった一方的な考えをやめること。新しいことに慎重になりすぎないこと。これらをこれからの探究に役立てたい。



12月7日(火) グローバルフィールドワーク 株式会社スノーピークへの訪問調査

全国高校生フォーラムに参加する生徒4名が探究内容を深めるためスノーピークを訪問し学習してきました



12月8日(水)10日(金) WWL特講が行われました

演題：「探究学習の進め方＝テーマ設定と実証方法＝」

講師：田中 一裕様 (新潟大学創生学部教授)

探究活動とは、自分自身や地域・社会の問題について、その原因、解決方法などを考察し、答えのない課題に取り組むこと。その手法を具体的に学びました。

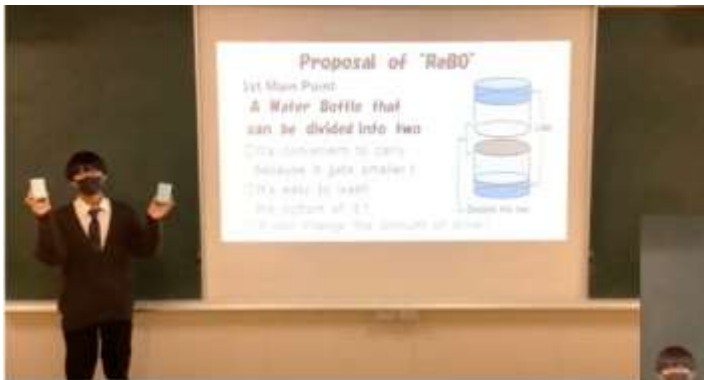




12月19日(日) 全国高校生フォーラムに参加しました

1年間の探究活動の取り組みを「“ReB0” (Reusable Water Bottles) saves our Ocean. ～海に優しいマイボトルの提案～」としてまとめ、プレゼンテーションを行いました。

当日は、探究内容についての質疑応答が行われ、テーマ別分科会に参加しました。



### ～生徒の感想～

全国の高校生のSDGsに関するアイデアの多様さや、意欲的に課題に取り組む姿勢、また英語力の高さに圧倒されました。私たちと同じ海洋問題に注目していても全く違う方向からアプローチしている学校もあり、とても興味深かったです。普段交流することができないフィリピンの方のお話も聞くことができ、貴重な機会となりました。

12月24日(金) 1学年探究発表会

学年の代表8グループが、探究の成果を発表しました



### 代表グループの探究テーマ

「フェアトレードの知名度を上げるためには」  
「海洋プラスチックの減少のために  
～プラスチックから燃料を！～」  
「廃棄物の有効活用」  
「水の汚さから子供を守ろう」  
「森林とどう関わるか」  
「すべての子どもに教育を」  
「日本とアフリカのフェアトレード」  
「海にやさしいマイボトルの提案  
～海の豊かさを守ろう～」

～生徒の感想～

・ フェアトレードの知名度を上げるために、読み聞かせに注目し、実際に自分たちで絵本を作成しているところが面白いと思った。

・ バイオマス発電のメリットデメリットを調べ、地元三条の土地や資金力など、三条でも実現可能かどうかを検討し、今後の課題を考えていることが良かった。

・ 課題考察のために、自分たちでろ過装置を作り、実験を行っていて説得力が増す発表だった。日本からその資材を送ることも大切だが、現地調達の方法を考える必要もあると思う。

・ マイボトルの重要さを数値化していて納得しやすかった。マイボトルのデメリットを踏まえて、新しいマイボトルを提案したことに関心した。また、提案したボトルが2つに分かれるところが斬新でユニークで面白いと思った。楽しく問題を解決しようとしていて見習いたいと思った。

2月1日(水) 県央ネット高等学校による探究活動発表会

テーマ：「地域・世界・未来について私たちが考えること

～持続可能な社会の実現に向けて～」

三条高校の他に新潟県央地域で特色ある学科・コースを持つ三条東高校、三条商業高校、新潟県央工業高校、燕中等教育学校、加茂農林高校が参加しました。

前半は、各校代表グループによる探究活動の発表が行われ、後半は、三条市立大学の学長アハメドシャハリアル先生から「テクノロジーで社会を変える～Innovation for Social Sustainability～」というテーマで基調講演をいただきました。



～生徒の感想～

・ 専門的な分野を学ぶ高校生だからこそその探究内容が興味深かった。どの学校も探究したことを地域に関連づけ、発展させようとしていて、他校の発表を聞いて刺激を受けた。

・ グローバルという観点だけにこだわらず、地元に着目したり、一歩外に出て日常の風景をよく観察することも重要だと思った。

・ アハメド先生がおっしゃっていたように経験しないと分からないことばかりなので、計画を立てて色々なことを経験し、誰が困っているのか、どのようなことが原因かなどを実際に見たり聞いたりすることが大切だと思った。発想力を豊かにすることも大切だと思うので学ぶだけでなく自分で何かを作り出してみることに挑戦してみたい。





## 2月 大学連携

新潟県立大学、新潟大学、長岡技術科学大学の先生方からリモートで探究活動の指導助言をいただきました



2月24日(木) WWL特講 外務省高校講座が行われました  
講師：伊藤 光 様 (外務省中南米局中米カリブ課)



～生徒の感想～

- 外交官だからこそ、諸外国の歴史の転換点に関わることができる、という言葉が印象的で魅力的だった。
- 外交官として、歴史の転換に立ち会えることが楽しいという話を聞き、外交官の仕事は責任も重い分、他の仕事ではできない経験や、やりがいを感じることもできるのだと思った。外交官の仕事があってこそ日本と他国の関係が成り立っていて、その上で私たちは安心して暮らすことができているのだと思った。
- 外交をしていく中での魅力や経験、生の話を聞くことができ、貴重な経験になった。自身が国と国との関係を大きく変える場に居合わせ、そのために尽力する、外交官の役割はとても大きく、国の重要な機関のだと再認識することができました。

3月16日(水) ポスターセッションが行われました

1年間の探究活動のまとめとして、1,2年生合同でポスターセッションが行われました。全117テーマの発表が行われ、質疑応答で盛り上がりを見せたグループもありました。



～生徒の感想～

- 誰もが一度は疑問に思ったことがあるテーマで探究をしていて興味深いものが多かった。ジェスチャーを用いながら専門用語を簡潔に説明し、筋道がしっかりしている発表は聞きやすく、理解が深まった。
- 食品ロスや環境問題、コロナ禍での観光、AIについてなど、テーマが多様で面白かった。あらためて問題意識を持って考えてみようと思った。
- 聞き手に問いかけるような発表、グラフや図表を用いたポスター、様々な視点からの分析結果の提示が分かりやすく良かった。いろいろな事柄にもっと疑問を持って、質問できるようにになりたい。